

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和2年12月17日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、江藤委員、小野澤委員、小林委員、田玉委員、龍野委員、田中委員、原田委員、増澤委員、松田委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、若林委員、渡邊規夫委員、渡辺里香委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域内分権推進担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年12月21日

## 協 議 事 項 等

## 次第

- 1 開会
- 2 会長よりあいさつ
- 3 協議事項

## (1)城南地域の課題について

「防災」「高齢者福祉」「産業振興」

## (2)その他

事務局より、上田城南地域協議会だより発行について素案説明

## 【各部会協議】

## ○防災部会

災害時情報伝達手段について、城南地域でSNSを導入した自治会の事例、資料を示して意見を出し合った。以下、委員からの主な意見

- ・自治会内での情報伝達が難しい。従来の電話による連絡網では、ほとんど伝わらなかった。
- ・平日の昼間は、勤めの関係で電話連絡には限界がある。  
メールであれば休憩時間などに見る可能性が高まる。
- ・子どものスマホなどもメンバー登録しておけば、孫から祖父母へ情報を伝えることができる。
- ・上田市でも自治会長への災害情報伝達に携帯・スマホによる配信システムを導入したが、不慣れな人もあり、活用していくためには今後の周知、訓練が必要。
- ・自治会でも、できるだけ対面での会議は避けるため、Zoomなどを導入しているところもある。これも練習が必要。
- ・新しい情報伝達方法への取り組みなどについて、年齢はほとんど関係しない。
- ・敬老会でパソコンの学びについて取り組んだところ、平均年齢78歳の10人近くが終了した。
- ・災害情報をはじめ、いろいろな伝達手段がある。課題はあるにせよ、先ず勉強して慣れることが必要。
- ・できない側へ合わせるのではなく、できる側に合わせて進めることが大切。
- ・自治会連合会、住民自治組織でもスマホ等による情報伝達方法について取り上げてはどうか。

#### ○高齢者福祉部会

部会長作成の資料を基に意見交換をし、課題の洗い出しを行った。

以下、委員からの主な意見

- ・地域においてそれぞれの団体で活動しているが、内容が重複している。整理して周知したらどうか。
- ・行政には団体とのコーディネート役や資金を支援してほしい。
- ・高齢者福祉支援は、サービスはあるのに知られていないので利用されていない。PR不足ではないか。
- ・チラシやパンフレットを配っても字が小さくて読めない。読んでもらうための工夫が必要ではないか。
- ・回覧文書も家族全員が見るものではなく、家族内で情報が共有されないことも要因の一つではないか。
- ・健康な高齢者の居場所づくりが必要ではないか。
- ・自治会を越えての仲間づくり（会場までいかれる手段も要検討）が必要ではないか。
- ・老人会の活性化が必要ではないか。

#### ○産業振興部会

以下、委員からの主な意見

- ・城南地域にある店舗等の情報（店舗等の一覧や分野別の店舗数等）を市商工課は把握していないとのことだが、上田商工会議所が把握しているかもしれない。
- ・SNS などインターネットを利用して、店舗情報を発信すると効果的ではあるが、インターネットを利用しない高齢者などへの情報発信をどうするか。
- ・店舗等は、自分たちのことを地域住民（消費者）に知ってもらいたい、地域住民（消費者）は店舗等を知りたいという意味では意見が合致している。
- ・店舗等も地域住民に知ってもらうための自助努力は必要だが、地域住民も店舗等を知ろうとする姿勢が必要である。
- ・どうしたら暮らしやすくなるかを考えていきたい。

#### 4 その他

次回の開催予定

日時 1月21日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 大ホール

#### 5 閉会